

持続可能性日本語教育

-よりよく生きることを考える内容重視の日本語教育-

講演
&
WS



主催:立命館大学大学院言語教育情報研究科
(多文化共生をめざした日本語教育プロジェクト)

2017年

3月11日 土 10:00-16:00

立命館大学大学院言語教育情報研究科 創思館303, 304教室

講師

岡崎眸：城西国際大学
小田珠生：東京工芸大学
後藤美和子：城西国際大学
佐藤真紀：東北学院大学

トンプソン美恵子：早稲田大学
野々口ちとせ：立命館大学
房賢嬉：国土館大学
半原芳子：福井大学

内容

持続可能性日本語教育とは、グローバル化社会の問題に当事者の立場から向き合い、社会でよりよく生きていくための展望を考える内容重視の日本語教育です。たとえば、雇用、食糧事情の不安定化など、人々の生き方を根本から揺るがす事態が身近に起きていますが、このような問題がある中でいかに生きるかを議論する機会は限られています。持続可能性日本語教育では、言語を使って、学生と教師が社会のあり方や生き方を考えるための教育を行います。ワークショップでは、持続可能性日本語教育の教室活動を体験し、日本語教師、そしてグローバル化社会を生きる一人の人間として、私はどう生きていきたいかをめぐって日本語の教室で考え対話を深める意義について議論します。

申し込み方法

参加を希望される方は、2017年2月28日（火）までに①お名前、②ご所属、③メールアドレスをtohyama@law.ritsume.acまでご連絡ください。事前課題をお送りします。

申し込み(定員25名)
お問い合わせ

立命館大学大学院言語教育情報研究科
日本語教育学プログラム 遠山千佳
Email: tohyama@law.ritsume.ac.jp